平成19年度第1回 緑区地域福祉計画推進協議会 議事要旨

1 開催日時

平成19年6月16日(土) 14:00~16:15

2 出席者

緑区推進協議会委員(以下、委員):(出席委員 15名)

秋山委員・新井委員・大槻委員・大土委員
岡本委員・鴨委員・桑原委員・竹内委員
武村委員・田宮委員・手塚委員・徳田委員
平山委員・本田委員・中村委員(吉田委員
の代理)

(欠席委員 5名)

石井委員・岩瀬委員・金井委員・篠原委員
豊田委員

<事務局>

千葉市緑区役所 : 中田区長

千葉市緑保健福祉センター

保健福祉サービス課 : 岡本所長・中尾主幹・神代主任主事
宮間主任主事

千葉市社会福祉協議会 緑区事務所: 御園所長・高吉主任主事

千葉市保健福祉総務課 計画調整班: 石原主幹・半澤主査・星谷主事

3 開催場所

緑保健福祉センター 2階 大会議室

4 議事

・緑区長あいさつ

・委員自己紹介

・事務局自己紹介

・議題(1) 会議の公開について

全委員一致で「公開とする」ことで可決した。

・議題(2) 委員長・副委員長の選任について

委員長には、平成18年度同様、引き続き、「岡本博幸」委員が選任された。

また、副委員長には、岡本委員長の指名により、平成18年度同様、「秋山正俊」

「田宮妙子」の両委員に決定した。

・議題（３） 広報部会委員の選任について

平成１８年度と同様、引き続き、「大槻勝三」、「田宮妙子」、「本田英作」、「中村和彦（吉田委員の代理）」の各委員に決定した。ただし、議題（４）の地域福祉活動事例集の協力委員に「竹内敏明」委員になったことから、新たに「竹内敏明」委員も広報部会の委員に選任された。

・議題（４） 地域福祉活動事例集の作成に伴う協力委員の募集について

保健福祉総務課の石原主幹が資料の「平成１９年度 地域福祉活動事例集の作成について」、「平成１９年度 地域福祉活動事例集 スケジュール（案）」、「地域福祉活動事例の募集について」をもとに説明した。

委員：この事例集の募集は全市で行うのか。

事務局：全市６区であり、１区×２件の事例を考えています。

委員長：この事例集は冊子かチラシなのか。

事務局：冊子です。

委員：作業所のようなところも該当するのか。

事務局：様々なジャンルを考えていますので、最終的には、編集会議で決定したいと考えています。

委員長：冊子のサイズと１，５００部の配布先はどこか。

事務局：A４サイズで、１区２ページです。また、主な配布先は、公共施設や推進協議会などを考えています。また、千葉市のホームページにも掲載する予定です。

委員：このような良い事例集を一部のところにしか配布しないのはもったいない気がするが。

事務局：予算等の関係から配布先が絞られてしまいます。

委員：この「地域福祉活動事例の募集について」のチラシはどこにあるのか。

事務局：保健福祉サービス課や社会福祉協議会。また、千葉市のホームページにも掲載してあります。

委員：全市の事例集として載せてしまうと、緑区の住民が見た場合、参考にならないものがあると思うので、是非、緑区版として、作成していただきたい。

事務局：他の区の事例を参考にして欲しいのも目的の１つにあります。また、緑区版として作成するかどうかは、推進協議会で決めてみてはどうでしょうか。

委員長：もし、緑区版を作成するとなると、社会福祉協議会が中心となり、また、

予算もあるのか。

事務局：社会福祉協議会が中心となるかどうかは、定かではありませんが、推進協議会には予算はありません。

また、今年度は初年度ですので、各区2事業と考えており、今後も継続していく予定ですので、本年度は各区2事業としてすすめていきたいと考えています。

委員：冊子は推進協議会のメンバーにも見せていただくことはできるのか。

事務局：できます。

委員長：町内自治会へのこの募集のチラシを回覧することはできないか。

事務局：初年度ということもあり、また、1区2事業までですので、募集が多いと選定するのが難しくなってしまいますので、現在のところ考えてはいません。

また、協力委員については、広報部会委員や副委員長の中から選任する案も出されたが、全委員一致で「竹内敏明」委員に決定した。

・議題(5) 今年度の開催日程について

各委員1人ずつに意見を聞き、開催日については、第2土曜日の午後2時から開催する予定で決定した。

第2回会議	8月11日(土)
第3回会議	10月13日(土)
第4回会議	12月8日(土)
第5回会議	2月9日(土)

・議題(6) 地域福祉パイロット事業について

社会福祉協議会の高吉主任主事が資料の「平成18年度 緑区地域福祉パイロット事業実施状況一覧」「社会福祉法人千葉市社会福祉協議会 地域福祉パイロット事業補助金交付要綱」「地域福祉パイロット事業の概要」「事業計画書」をもとに説明した。

委員：平成18年度のそれぞれの事業に参加した人数を知りたい。

事務局：次回の推進協議会にて報告させていただきます。

委員長：誉田地区部会の事業にて、参加する子供達の範囲は鎌取町内会なのか。そうだとすると、あまりにも対象範囲も人数枠も狭いようだが。

事務局：詳細はわかりませんので、後日確認して、審査会へ諮らせていただきます。

委員：提出期限をもう少し延ばしても良かったのでは。

事務局：推進協議会から意見を具申していただく必要がありましたので、5月末

日までとなっています。

委員長：なぜ、各区によって申請件数が違うのか。

事務局：各区によって、地区部会数が違うからです。

委員長：仮に地区部会数で考えると、緑区の場合、4事業までとなってしまう。他の区と人口比でみた場合、不公平であり、もう少し申請ができるのではないか。

事務局：この事業は地区部会を活性化して欲しいという目的もある関係から、地区部会へ補助することとなっています。

委員：平成19年度は全体でいくつの申請が出ているのか。

事務局：25事業（地区部会）です。

委員：残り5事業分についても、是非取り扱って欲しい。また、地区部会を通さなくても、小さな団体等には申請できるように検討して欲しい。

事務局：地域福祉計画の目的の1つに地区部会が他の団体と連携をはかることも含まれていることから、地区部会へ補助することとなりました。

委員：土気地区部会の事業のようなコミュニティを大切にすることは良いことだと思うが、これは千葉市や社会福祉協議会がもっと力を入れていくべきことだと思う。

事務局：今後、より一層力を入れていきたいと思えます。

・議題（7） 緑区地域福祉計画等の推進について

議題（6）との関係もあって、特に意見等はなし。

・議題（8） その他

保健福祉総務課の石原主幹より、「千葉市政出前講座」の活用について依頼した。

以上。